

# ログイン認証

動的Webプロジェクトを作成

## 1 時間目

# ログイン認証とは

## ログイン認証機能

ログイン画面からID、パスワード情報を入力し、データベースに保存されているID、パスワードと比較し、入力情報と同じ情報が存在した場合はログイン認証成功、次の画面へ遷移します。  
入力情報と同じ情報が存在しない場合はログイン認証失敗、ログイン画面へ戻します。

楽天会員ログイン

ユーザーID  
※半角英数字

パスワード  
※半角英数字

ログイン

[個人情報保護方針に同意してログイン \(2017年2月13日改定\)](#)

ブラウザを開くときオートログインを無効にする [設定](#)  
[共有のコンピュータをお使いの方は選択してください]

[ユーザーID・パスワードを忘れた場合](#)

[ヘルプ](#)

SSL対応 入力された情報は暗号化して送信されます。



ログイン認証成功で次の画面へ  
遷移します。

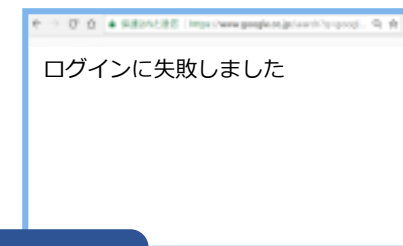
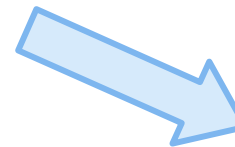
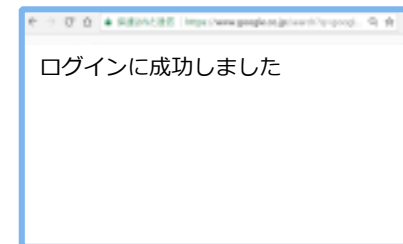
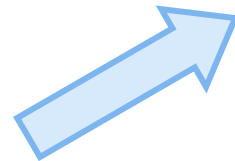
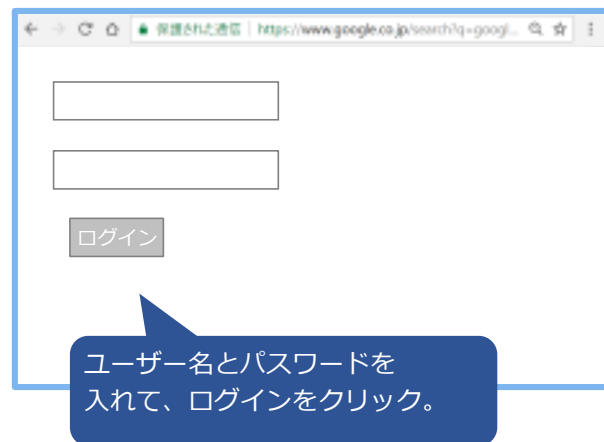


# ログイン認証とは

当社カリキュラムで作成するログイン認証機能は、

- ①ログイン画面
- ②ログイン成功画面
- ③ログイン失敗画面

の3つを簡易的に作成します。

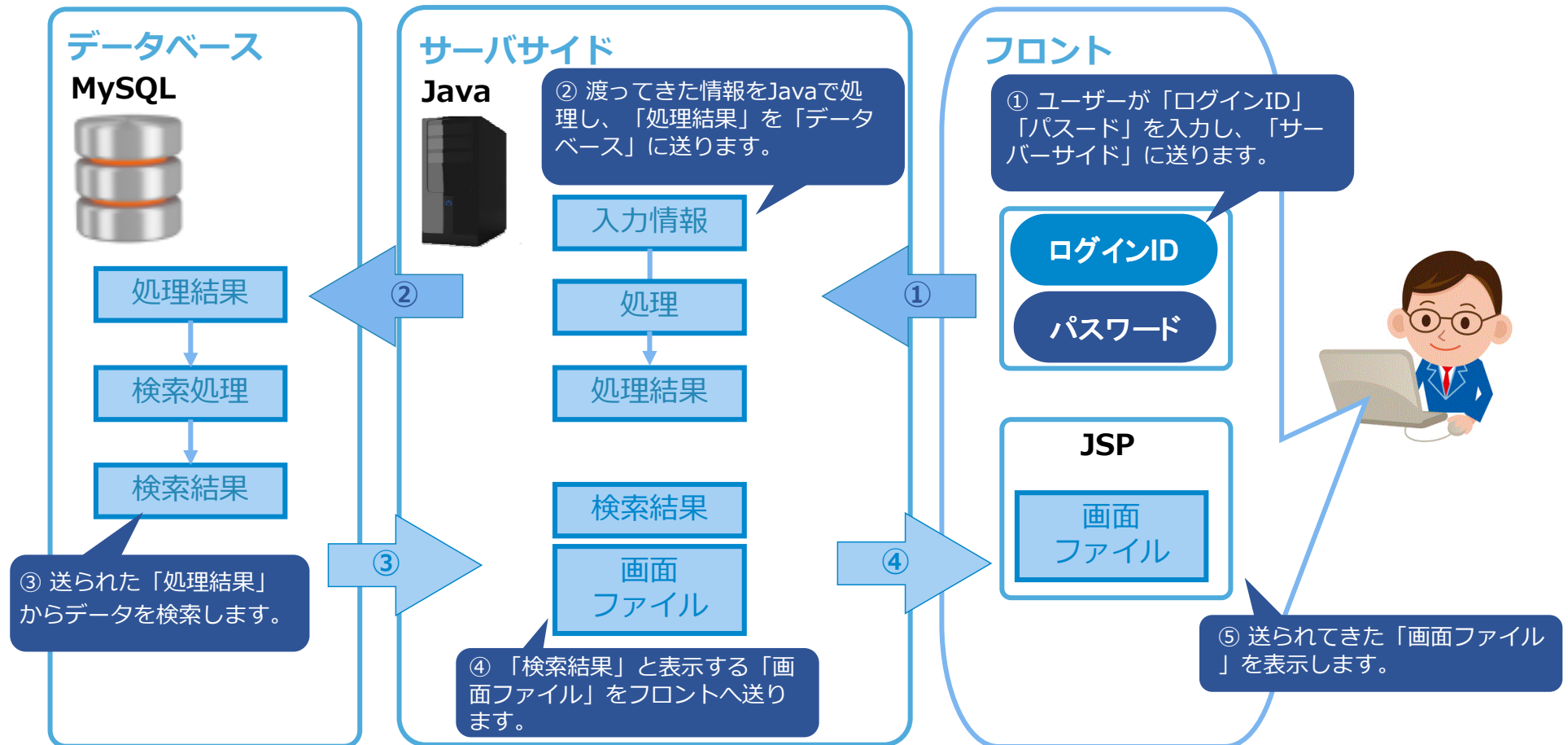


成功画面と失敗画面の  
どちらかにページが移動します。

# 作業目次

- 1) 全体の流れについて
- 2) 作業環境を作成
  - 1 : Eclipseを起動
  - 2 : 動的Webプロジェクトの作成
  - 3 : Struts2フレームワークを配備
  - 4 : プロジェクト内にpackageの作成

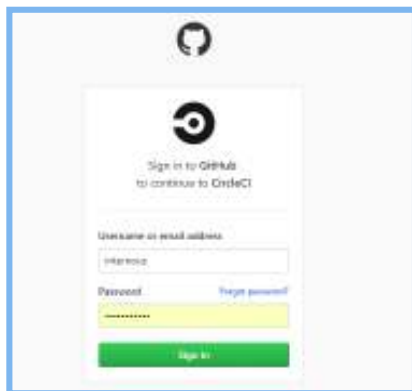
## 全体の流れについて



## 全体の流れについて

### フロントとは

ブラウザ(IE、Chrome、FireFoxなど)でサイトを開いたときに表示される画面のことです。



### フロント

①

④



## 全体の流れについて

### サーバサイド Java

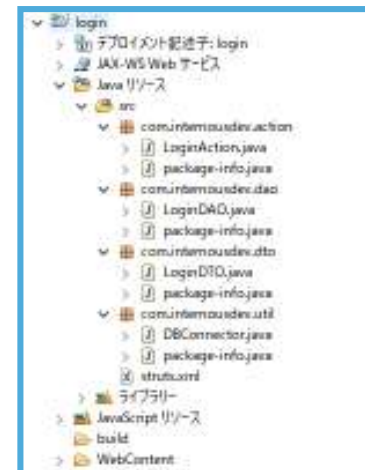


②

③

### サーバーサイドとは

サーバーサイド言語で作られた機能群のことです。  
今回はJava言語を使うので、Java言語で作られた機能群のことだと覚えておいてください。



## 全体の流れについて

データベース

MySQL



### データベースとは

データを保存、検索、取得、削除することができる情報の領域です。

```
選択コマンドプロンプト - mysql -u root -p
mysql>
mysql> show databases;
+-----+
| Database |
+-----+
| information_schema |
| creditcard_manager |
| essite      |
| komozon     |
| mysql       |
| openconnect |
| performance_schema |
| sakila      |
| solare      |
| sys         |
+-----+
10 rows in set (0.20 sec)

mysql> use openconnect;
Database changed
mysql>
mysql> select * from user;
+----+-----+-----+
| id | user_name | password |
+----+-----+-----+
| 1  | taro      | 123      |
| 2  | jiro      | 123      |
| 3  | hanako    | 123      |
| 4  | saburo    | 123      |
+----+-----+-----+
4 rows in set (0.01 sec)

mysql>
```

②

③

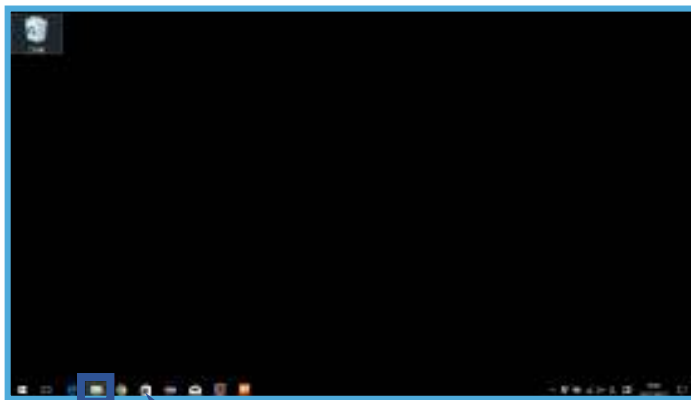


# Eclipseを起動

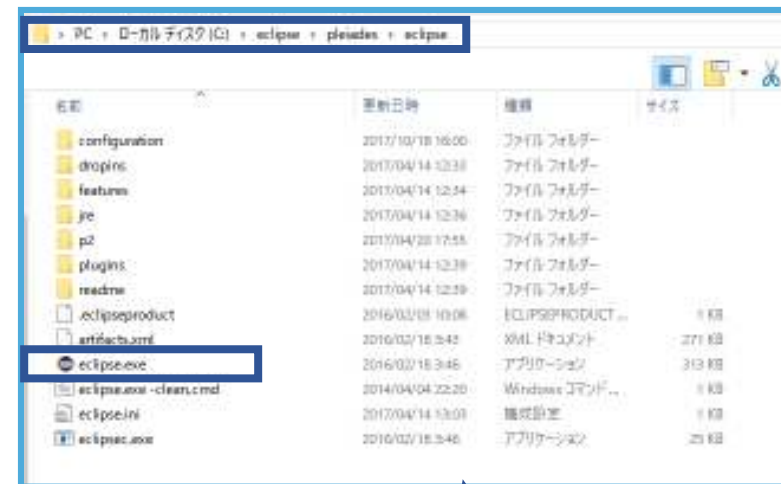
## 解説

EclipseにはJavaプロジェクトの開発に必要なツールが用意されてます。  
他のエディタツールでも開発はできますが、現場ではEclipseを使用しているプロジェクトが多いです。

## 1 Eclipseを起動



① ホーム画面の「エクスプローラー」アイコンをクリックします。



② 「pleiades.zip」の解凍方法により「C」以降のパスが異なる可能性があります。

③ 「C」「eclipse」「pleiades」「eclipse」へ移動します。  
ディレクトリの中にある「eclipse.exe」をダブルクリックします。

# Eclipseを起動

④ ③と異なるパスパターン時の実行です。



⑤ 「C」 「pleiades」 「eclipse」 へ移動します。  
ディレクトリの中にある「eclipse.exe」をダブルクリックします。

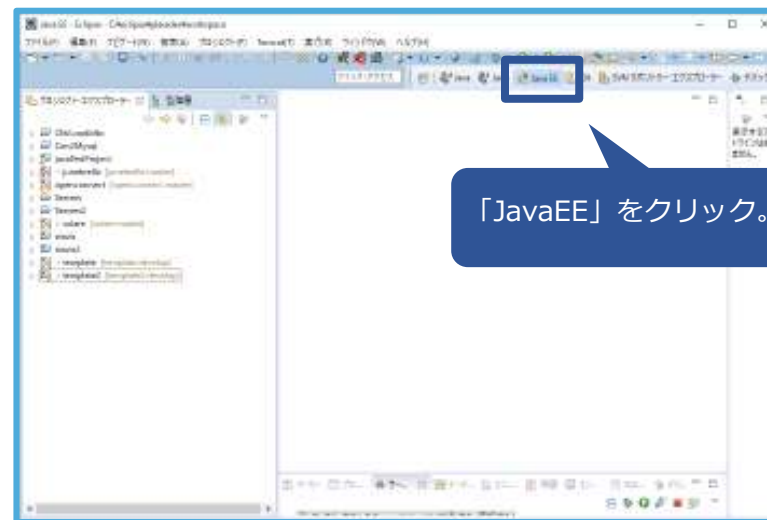


⑥ 「eclipse.exe」をクリックした後  
どちらのパターンも上記の画面が表示  
されれば、起動成功です。

## Eclipseを使うときに

ログイン認証機能はEclipse上でJavaを使い、  
一つのプロジェクトを作っていくことになります。

その際、「JavaEE」というJavaの拡張機能を使って作っていきます。  
「JavaEE」はEclipseにも備わっています。

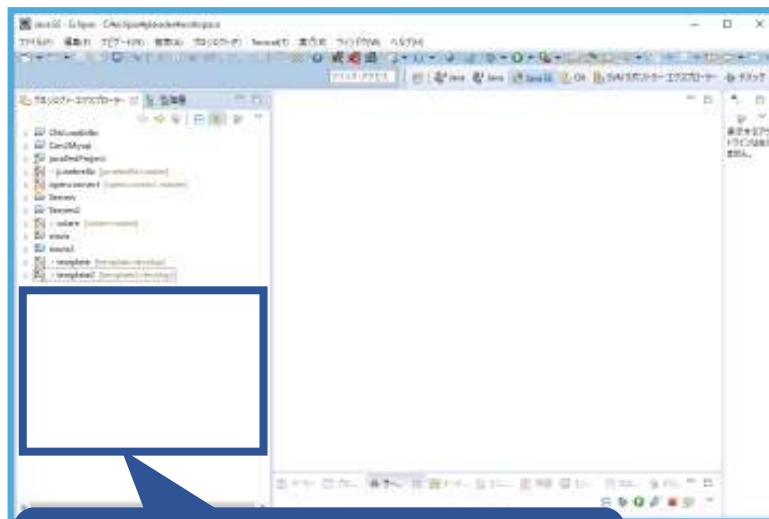


# 動的WEBプロジェクトの作成

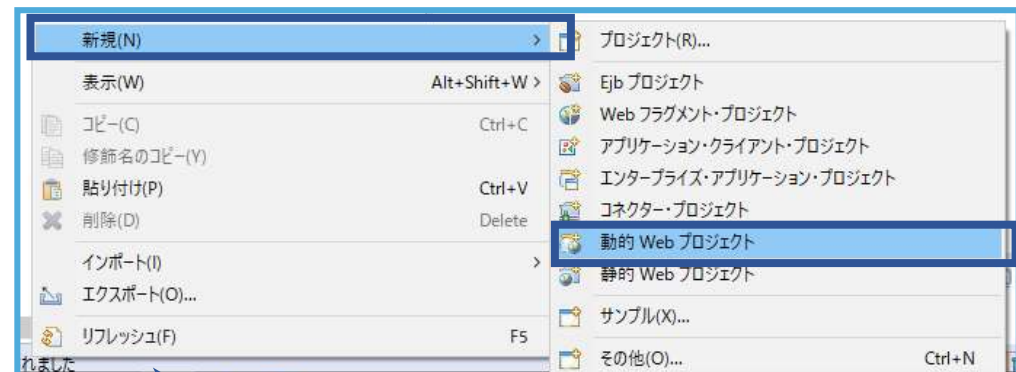
## 解説

動的Webプロジェクトでは、Javaを利用した動き(変化)があるWebページを作成できます。  
例：ログインしたユーザ情報によってページに変化(動き)を付ける。

## 2 動的Webプロジェクト

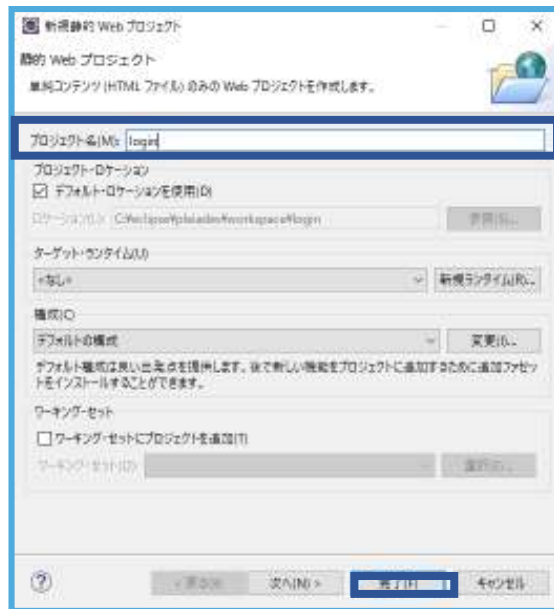


① 「プロジェクト・エクスプローラー」の余白部分で右クリック

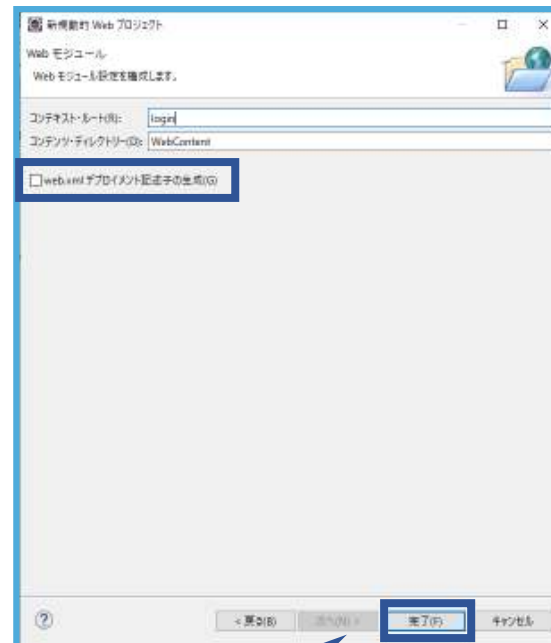


② 「新規」「動的webプロジェクト」の順番で選択します。

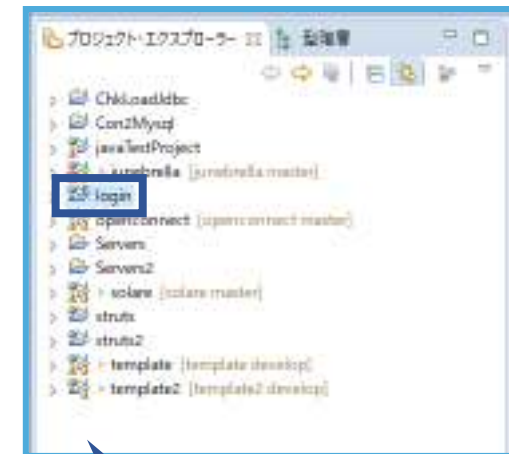
## 動的WEBプロジェクトの作成



① 「プロジェクト名(M):」の欄に「login」を入力して、完了ボタンをクリックします。



② 「Web.xmlデプロイメント記述子生成(G)」にチェックを入れ、完了ボタンをクリックします。



③ 「プロジェクト・エクスプローラー」に「login」プロジェクトが作られていれば成功です。

# Struts2フレームワークを配備

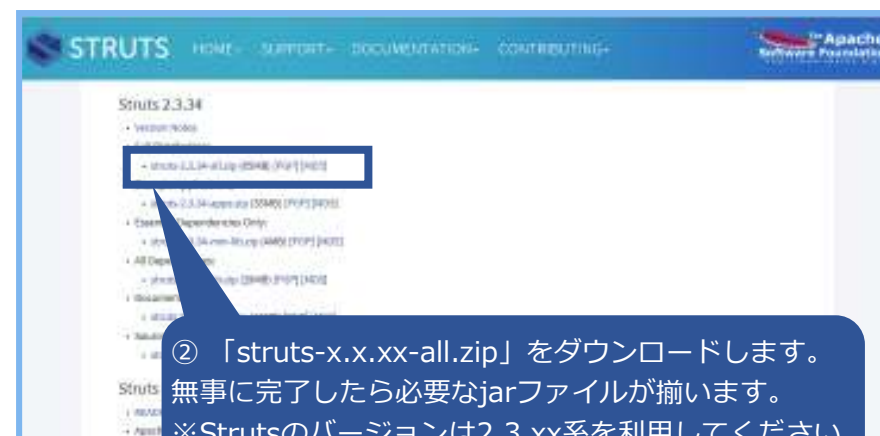
解説

Struts2フレームワークを利用してプロジェクトを作成するには、Strutsの公式サイトからフレームワークのjarファイルをダウンロードする必要があります。

## 3 Struts2フレームワークを配備

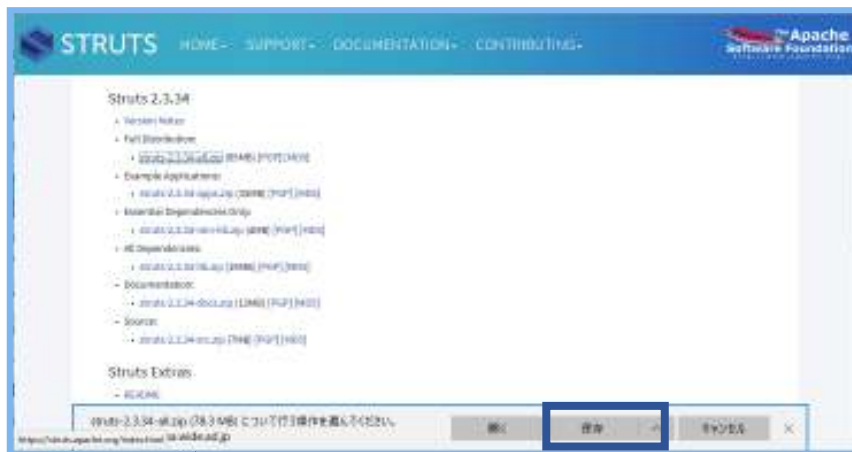


① 「<http://struts.apache.org/>」にアクセスし、「Download」ボタンをクリックします。

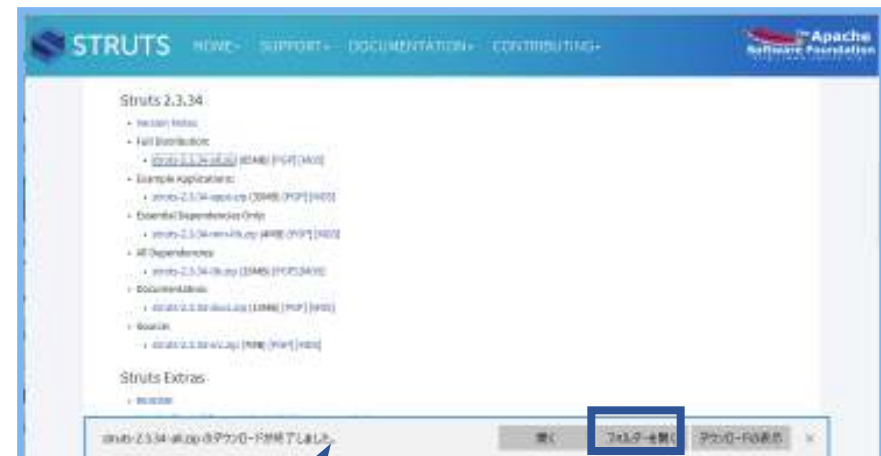


② 「struts-x.x.xx-all.zip」をダウンロードします。  
無事に完了したら必要なjarファイルが揃います。  
※Strutsのバージョンは2.3.xx系を利用してください  
他のバージョンでは互換性がありません。その為、ここでは2.3.xxを選択してゆきます。

# Struts2フレームワークを配備

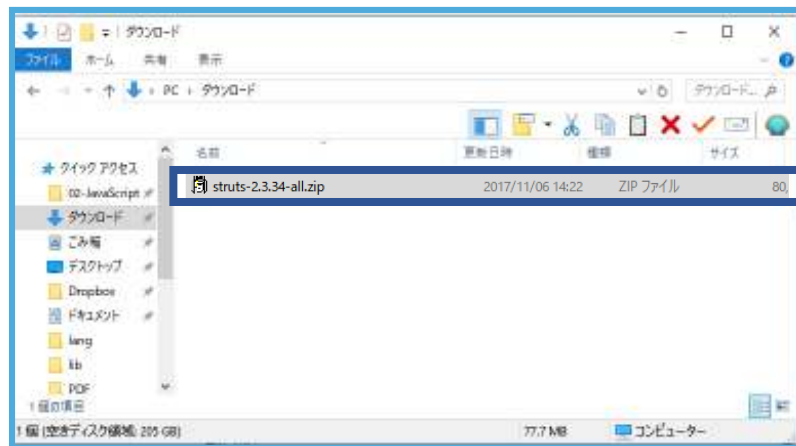


③ 「保存」をクリックしてください。

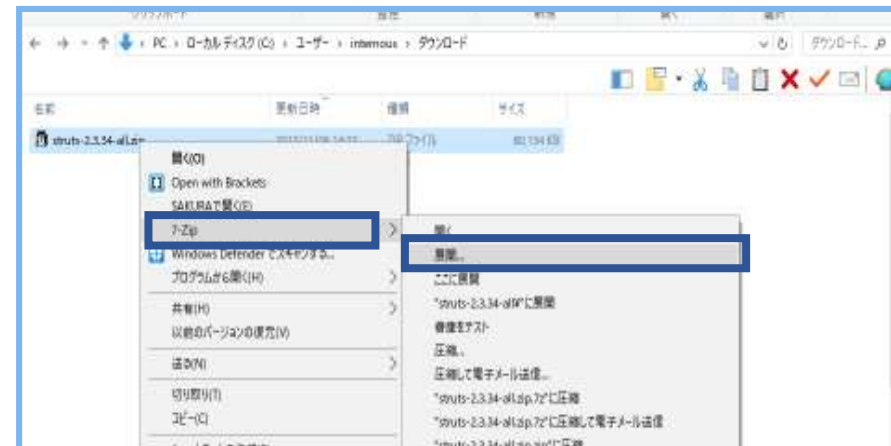


④ ダウンロードが完了後「フォルダを開く」ボタンをクリックします。

# Struts2フレームワークを配備



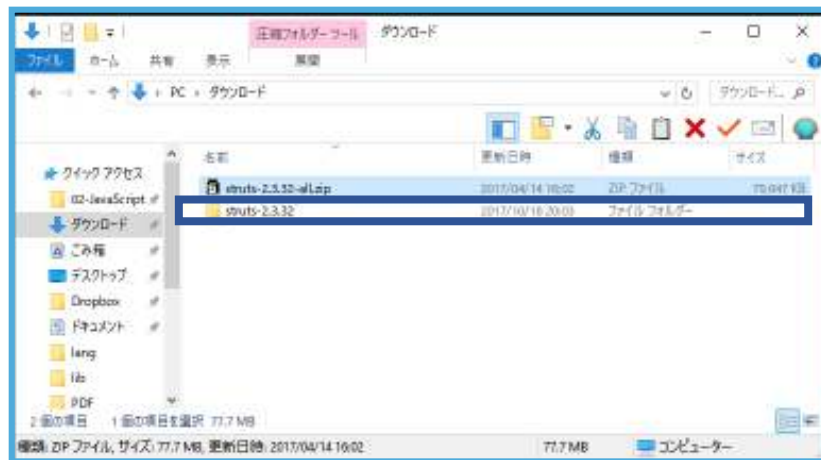
⑤ ダウンロードファイルが格納されている「ディレクトリ」が開きます。対象のディレクトリの中に「struts-x.x.xx-all.zip」を探します。



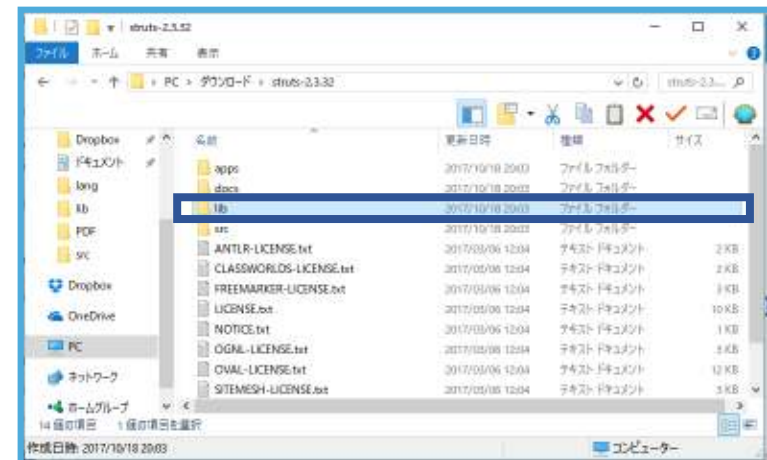
⑥ 「struts-x.x.xx-all.zip」を右クリックし、「解凍」または「展開」します。



# Struts2フレームワークを配備

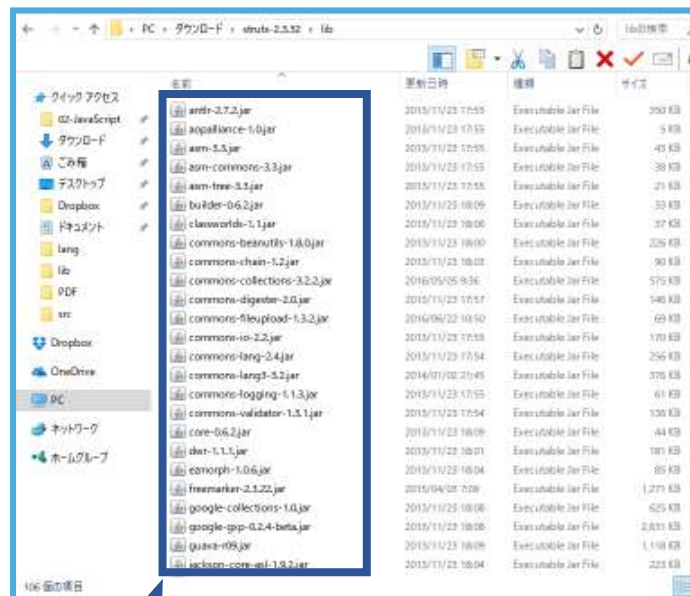


⑦ 解凍が終わると「struts-x.x.xx」という名前のディレクトリが増えます。「struts-x.x.xx」をダブルクリックします。



⑧ 「struts-x.x.xx」ディレクトリの中に「lib」ディレクトリがあります。次に「lib」ディレクトリをダブルクリックします。

# Struts2フレームワークを配備

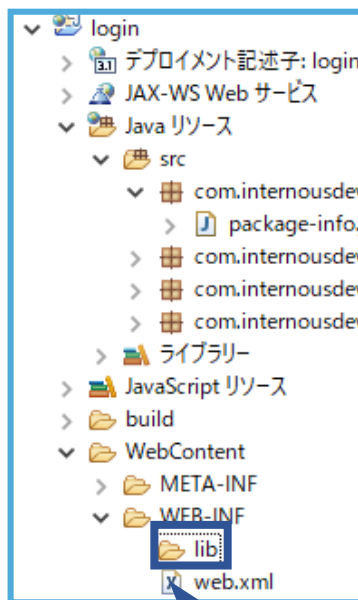


⑨ 「lib」ディレクトリの中には多くの「jar」拡張子ファイルが存在します。「strutsフレームワーク」に必要なファイルだけを取得します。

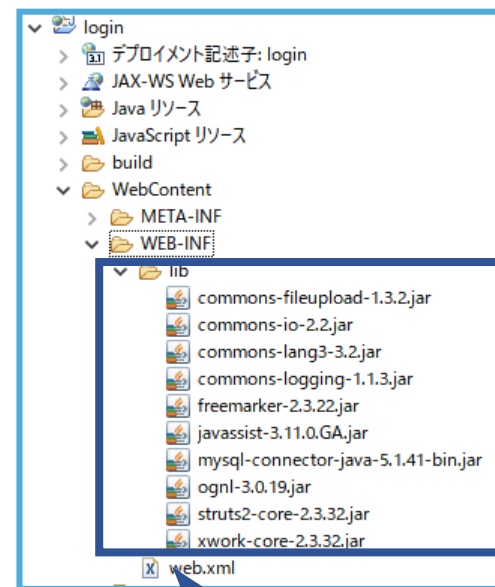
commons-fileupload-1.3.2.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	69 KB
commons-io-2.2.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	170 KB
commons-lang3-3.2.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	376 KB
commons-logging-1.1.3.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	61 KB
freemarker-2.3.22.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	1,271 KB
javassist-3.11.0.GA.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	600 KB
ognl-3.0.19.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	226 KB
struts2-core-2.3.32.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	854 KB
xwork-core-2.3.32.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	663 KB

⑩ 上記の9つのjarファイルを探します。

## Struts2フレームワークを配備

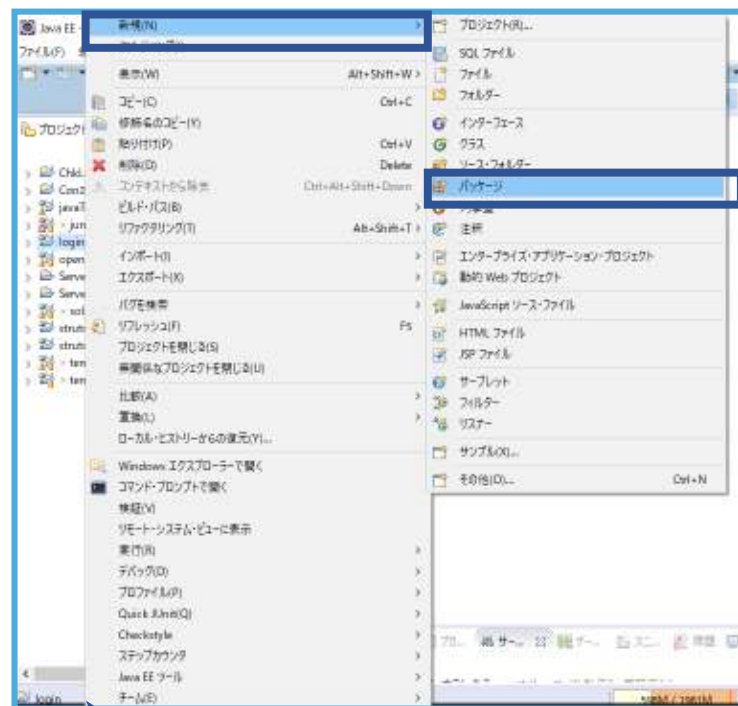


⑪ 探したjarファイルを「プロジェクト」「WebContent」「WEB-INF」「lib」ディレクトの中にコピーします。

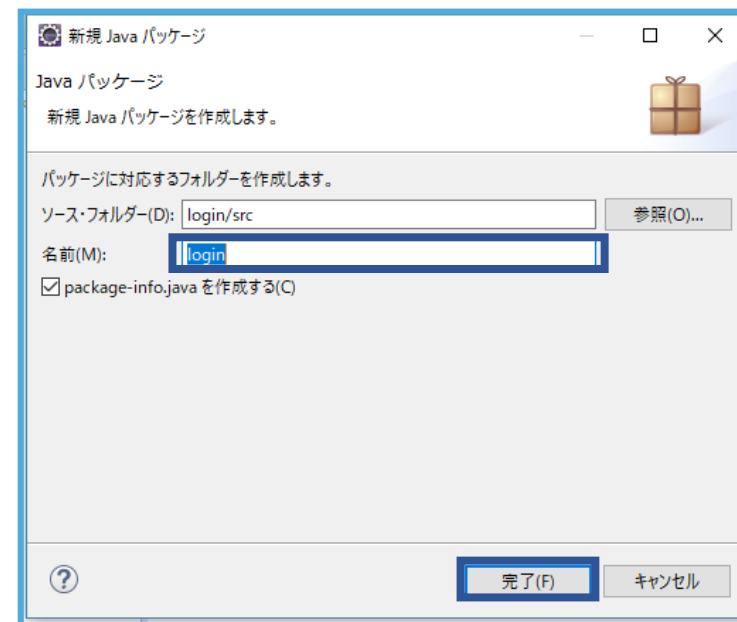


⑫ 「lib」ディレクトリの中にコピーしたjarファイルが入れば成功です。

# プロジェクト内にpackageの作成

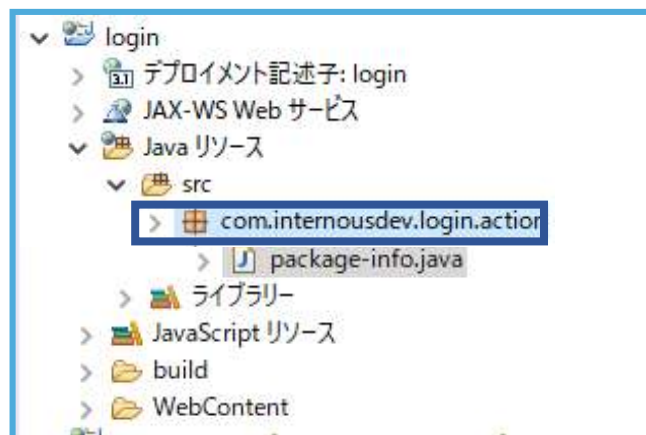


① 「プロジェクト」を右クリック、  
「新規」「パッケージ」を選択します。

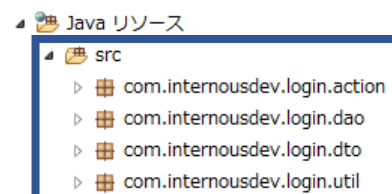


② 「名前(M):」の欄にパッケージ名を入力します。  
今回は「com.internousdev.login.action」と  
入力して完了をクリックします。

## プロジェクト内にpackageの作成



③ 入力したパッケージが作成されていれば成功です。



④ ①～③の手順を後3回繰り返します。  
以下のpackageを作成します。

1. "com.internousdev.login.dao"
2. "com.internousdev.login.dto"
3. "com.internousdev.login.util"

⑤ 全部で4つpackageを作成すれば完了です。